

戦国武将をイラスト化し、分かりやすく紹介している「佐世保戦国.com」のホームページ



佐世保の戦国時代 HPで紹介

佐世保市近郊の史実などを基に戦国時代の歴史を紹介するホームページ（HP）「佐世保戦国.com」が、郷土史ファンらの目を引いている。オリジナルのイラストや写真を使い歴史を分かりやすく解説し現在も更新を続けており、「郷土史に親しみを感じるようになった」と市民の反応も上々だ。

イラストや写真使い解説



グラフィックデザイナー 垣田さん

「郷土の歴史をより分かりやすく紹介したい」と語る垣田さん。佐世保市若竹台町

HPは市内の広告代理店勤務でグラフィックデザイナーの垣田鉄郎さん(37)＝同市若竹台町＝が約2年前前から趣味で制作。長男が小学校の時に使っていた郷土史の副読本を偶然手に取り、実家近くに東北の武士団、平戸松浦氏の山城「広田城」があった史実を知り、郷土史に興味を抱いたのがきっかけ。以来、「子どもに分かる郷土史」を念頭に更新を続けている。

垣田さんによると、佐世保の戦国時代は、東北を拠点とした武士団松浦党が源流の平戸松浦氏と宗家松浦氏の対立や、その対立を制した平戸松浦氏と近隣藩の攻防の歴史が中心。HPでは佐世保市、北松佐々町に残る山城跡や人物関係を紹介している。

郷土史資料を丹念に調べ、カメラを手に実際に史跡に足を運び取材。同市内などに点在する山城をイラストや写真などで紹介し、垣田さん自身の想像も交えながらコンピュータグラフィックで当時の様子を再現するこだわりようだ。主な武将はキャラクター化し、相関図も独自に作成。複雑に入り組んだ人物関係も一目で分かるように工夫した。

「郷土の歴史を知れば、日常の風景が違った視点から楽しめる」と垣田さん。「キャラクターの動画制作にも挑戦し、郷土史をより楽しく、分かりやすく紹介していきたい」と意気込んでいる。

(内野大司)

郷土の歴史 丸分かり

佐世保近郊 北 岐